

## 第 12 回あわじしま感染症・免疫フォーラム

会期：2013 年 9 月 10 日（火）～13 日（金）

会場：淡路夢舞台国際会議場

大会長：岩本 愛吉（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター）

主催 東京大学医科学研究所  
大阪大学微生物病研究所  
京都大学ウイルス研究所  
長崎大学熱帯医学研究所  
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター  
共同研究拠点事業  
連携融合事業（感染症国際研究センター）  
新学術領域「ウイルス感染現象における宿主細胞コンピテンシーの分子基盤」  
（財）阪大微生物病研究会

後援 日本製薬団体連合会、兵庫県

共催 新学術領域「マトリョーシカ型進化原理」  
日米医学協力研究会免疫専門部会  
日米医学協力研究会エイズ専門部会



2013 年 9 月 10 日～13 日の 4 日間、第 12 回あわじしま感染症・免疫フォーラムが例年どおり淡路島夢舞台国際会議場で開催されました。会期中は穏やかな晴天に恵まれ、海外からの参加者 44 名を含む 195 名が出席し、盛会のうちに会を終了することができました。

本フォーラムは、これまで大阪大学微生物病研究所と東京大学医科学研究所が中心となって開催されてきましたが、本年度からは京都大学ウイルス研究所、北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター、長崎大学熱帯医学研究所も正式に主催団体に加わり、さらに幅広い参加者・発表者を迎え、充実した国際会議となりました。



4 日間の会期中は、業績顕著な海外 12 名、国内 16 名の招待演者による講演の講演に加え、一般演題から選出された 18 題の口頭発表がプログラムのテーマに沿って組み入れられ、基礎から最先端の研究まで、非常に質の高い、充実した講演・議論が行われました。一般参加者からは 91 題のポスター発表があり、若手研究者による発表と質疑応答が交わされました。毎年恒例のトレーニングコースではウイルス学、細菌学、寄生虫学、免疫学の各講座に 53 名の参加者が集まりました。また、例年フォーラムから旅費・宿泊費を援助し、アジア・アフリカ各国から



若手の研究者を審査の上招待していますが、今年は過去最多の 7 か国・12 名が参加しました。

夜に開かれた Welcome Party や BBQ でも、親密な雰囲気の中、招待演者を囲んで活発な討論が交わされていました。



次回、第 13 回フォーラムは 2014 年 9 月 23 日（火）～26 日（金）、大阪大学微生物病研究所の菊谷仁先生を大会長とし、会場を奈良県新公会堂に移して開催される予定です。ぜひとも足をお運びいただき、フォーラムにご参加、ご協力いただければ幸いです。